

❀ 第2回 開催報告 ❀



ご参加いただいた皆さま
ありがとうございました。

日時 平成30年2月17日(土) 14:00~16:00

場所 長崎県営野球場 第1会議室

参加者 地域の皆さん 27人



1 第1回に話し合った内容

第1回

(1/28)

- ①長崎市の**公共施設の現状**（利用状況や老朽化の状況など）や**見直しの必要性**についてご説明しました。
- ②市の説明をふまえ、**どんな施設を見直すべきか**、**どんな取り組み**ができるか話し合いました。
- ③緑が丘・淵地区にある**公共施設の利用状況**を付せんにご記入いただき、地区にあるどの施設を見直すべきか話し合いました。



2 市がお示した公共施設の配置の考え方と見直し案

スポーツ施設

長崎市民全体を対象とした施設として、市内のいろんな地域から利用しやすいような場所に配置します。



市民総合プール



市民アーチェリー場

市民総合プール及び市民アーチェリー場については、現在の施設を適切に管理します。

博物館等



科学館

市民全体が利用する施設として、教育の振興や、学術及び文化の発展に寄与することなどを目的として設置していますが、老朽化等により設置当初の機能を果たせていなかったり、展示物の移転・集約が可能な施設もあり、長崎市全体として、見直しを図ることとしています。

科学館は、科学に触れ、楽しみ、学ぶ機会を提供する施設として、現在の施設を適切に管理します。

2 市がお示した公共施設の配置の考え方と見直し案（つづき）

市営住宅

人口の減少等により、市営住宅の需要は低下が予想されるなか、セーフティネットとしての役割を担いながら、適正な管理戸数への縮減を行います。配置については、立地適正化計画によるコンパクトなまちづくりを踏まえ、都心周辺部及び地域拠点には現在の戸数を維持し、その他の地区については、住宅需要や民間の動向を踏まえたうえで縮小を図ります。



富士見住宅



城栄住宅



青山住宅



清水住宅



狩股住宅



西町住宅



西町第2住宅



中河内住宅

富士見住宅は、現在入居されている方の住み替えを行ったうえで、今後、用途廃止を行う予定です。青山住宅は、今後、規模を縮小する予定です。その他の住宅については、現在の建物を適正に管理し、大規模改修や建替えの時点で規模の検討を行います。

コミュニティ活動施設

自治会活動をはじめとする様々な地域活動や、自主的な学習活動、高齢者の趣味活動、子どもたちが過ごす安全な遊びの場など、地域の幅広い世代の皆さんが気軽に立ち寄り、多様で幅広い活動のニーズに対応できる施設を「コミュニティ施設」と呼んでいます。

コミュニティ施設は、徒歩圏内で気軽に立ち寄れる範囲として、原則、小学校区の範囲で配置する考えです。このうち、多数の人数が見込まれる活動や行事等のため、やや広いスペースなどの設備をもった施設を、小学校区に配置する施設と兼ねる形で、中学校区に1つ配置することとしています。

また、近くに同じような使い方ができる施設がある場合は見直す必要があります。

❁ コミュニティ活動施設って？

人口減少が進むなか、これからも住みよい地域であり続けるためには、地域内の支えあいや助け合いがますます大切になります。地域の皆さんがお互いの絆を強めていくためにも、身近なコミュニティ活動の意義はますます高まっています。

ふれあいセンターや公民館、コミュニティ消防センターなどは、会議室や講堂などの設備を備え、こうした活動に気軽に利用されている代表的なコミュニティ活動施設です。そのほか老人憩の家や児童館なども、集会室、談話室、遊戯室などの広いスペースを備え、会合など多様に使える機能を持っていますが、利用できる人が高齢者や子どもに限られています。

世代を限った専用施設としての制約を見直せば、高齢者と孫世代といった多世代の交流にも使えたり、子どもが使わない夜間も開館して働く世代の人たちの会議にも使えるようになります。使い勝手を高めて多様で幅広いニーズに対応するとともに、世代を超えた地域内の幅広い交流を促進して、コミュニティの力をより強くしていくことも期待できます。

みんなに使いやすいように、施設のあり方を賢く見直しながら、住みよい地域づくりを目指していくことが必要です。



観光施設



長崎ロープウェイ

観光客が施設等の魅力を感じ、理解を深め、高い満足度を得るような価値がある場所に設置することとしています。

ロープウェイは、代表的な夜景スポット・稲佐山に行く主要な交通手段の一つであり、現在の施設を適正に管理します。

市営駐車場



松山町駐車場

市営の普通車駐車場は、施設利用者の利便性確保に必要な配置・規模とし、隣接する公共施設の建替え等、周辺環境の変化に併せて見直しをします。

松山町駐車場は、周辺のスポーツ施設等の利用者のほか、通勤者のパークアンドライド駐車場として利用されており、現在の施設を適正に管理します。

火葬場



もみじ谷葬斎場

火葬場は、市民生活の維持に必要不可欠な施設で、今後もサービスを維持する必要があります。

もみじ谷葬斎場は、故人との最後の別れの場に相応しい施設として、今後も適正に管理します。



【稲佐小学校区】

稲佐地域コミュニティ消防センターは、稲佐小学校区の地域のコミュニティ活動の施設として、引き続き現在の施設を適正に管理します。

稲佐地域コミュニティ
消防センター



淵地区ふれあい
センター

【城山小学校区】

淵地区ふれあいセンターは、城山小学校区の地域のコミュニティ活動の拠点として、現在の施設を適正に管理します。

なお、この建物に入っている「淵地区老人デイサービスセンター」は、ボイラーなどが老朽化し、今の設備を利用した施設の有効活用が難しくなってきたことから、平成31年度末でデイサービスセンターとしての貸付を終了します。貸付終了後のスペースの活用を検討する必要があります。



緑が丘地区
ふれあいセンター



老人憩の家
つつじ荘

【西町小学校区】

緑が丘地区ふれあいセンターと老人憩の家つつじ荘がありますが、つつじ荘は高齢者専用の施設なので、60歳以上の方しか使えません。

校区内にあるこれら2つの施設は、いずれも地域のコミュニティ活動に使える機能を持っていますので、地域の皆さんの使いやすさなどを踏まえながら、使い方の見直しを検討する必要があります。



西城山交流
センター

【西城山小学校区】

西城山交流センターは、旧図書センターの2階をコミュニティ活動の場として地元の連合自治会にお貸ししており、建物は築53年で老朽化が進んでいます。

この建物は、行政目的がなくなった施設の有効活用としてお貸しているものですので、今後は耐用年数を考慮した改修とし、大規模な改修や建替えは予定していません。

しかし、コミュニティ活動の場としての機能は、西城山小学校区内に確保する必要があると考えています。今後、この建物が耐用年数を迎え、使用できなくなった場合に備えて、どうしていくか考える必要があります。

子育て関連施設



緑が丘地区子育て支援センター
「ピクニック」

子育て支援センターは、子育て中の皆さんの孤独感や不安感の軽減を図るため、子育てに関する相談や情報提供、交流や仲間づくりができる場所として市内16区域に設置することとしています。

緑が丘地区子育て支援センターは、「淵・緑が丘区域」を対象として設置されており、西城山交流センターや若草学童クラブと同じく、旧図書センターの建物を使用しています。

建物は築53年で、老朽化が進んでいますが、今後は、耐用年数を考慮した改修は行いますが、大規模な改修や建替えは予定していません。

子育て支援センターの機能は、「淵・緑が丘区域」の中に確保する必要がありますので、この建物が耐用年数を迎え、使用できなくなることを想定して、今後について今から考える必要があると考えています。

放課後児童クラブ

放課後児童クラブは、子どもたちの放課後等における安全・安心な居場所を確保するため、小学校区ごとに設置します。児童クラブを設置する場合に、市の施設で利用できる場所があれば、活用いただいています。また、児童数の増等により新たな施設整備が必要となる場合は、事業者による施設整備を支援することで、子どもたちの放課後等における居場所の確保を図ります。



いなさっこクラブ
(稲佐小学校区)



城山学童クラブ
(城山小学校区)



西町どんぐりいず
(西町小学校区)

地区内の児童クラブのうち、いなさっこクラブ、城山学童クラブ、西町どんぐりいずは、それぞれ小学校の建物を利用しています。

引き続き、それぞれの小学校区内に機能を維持します。



若草学童クラブ
(西城山小学校区)

若草学童クラブは、西城山交流センターや緑が丘地区子育て支援センターと同じく、旧図書センターの建物を利用しています。建物は築53年で老朽化が進んでいます。

今後は、耐用年数を考慮した改修とし、大規模な改修や建替えは予定していませんが、機能は引き続き確保する必要があります。そのため、この建物が耐用年数を迎え、使用できなくなることを想定して、今後について運営事業者と協議していく必要があると考えています。

学校

学校の適正配置(統廃合)については、教育委員会で地域とお話を進めており、今回の対話では対象外とします。



稲佐小学校



城山小学校



淵中学校



西城山小学校



西町小学校



緑が丘中学校

3 グループ討議

今回の対話では、長崎市が考えた緑が丘・淵地区の公共施設のあり方の見直し（案）について、まず、参加者の皆さんに意見を書き出してもらい、その後、各班で意見のとりまとめをしていただきました。



4 発表

各班の発表内容の主なものです。

淵地区ふれあいセンター

- ・ デイサービスが平成31年度末に終了するので、空いたスペースに子育て支援センターが入れないか。
- ・ 西城山からも利便性がよいので、今まで通り、地域の人々のふれあいの場として、維持すべきだ。
- ・ 場所がわかりにくいので、わかりやすい案内板がほしい。
- ・ デイサービス終了後、60歳以上の地域住民に開放されている入浴はどうなるか心配だ。

1班 3班 4班
5班 6班



旧図書センター

- ・ 子育て支援センターや放課後児童クラブの機能を一旦、淵地区のふれあいセンター等に移転させた後、淵地区ふれあいセンターの建替えのタイミングで旧図書センターがある場所に複合施設を整備できたらいい。

2班 5班 6班

西城山交流センター

- ・ 地域が集まる場としては、近くには代替となる施設がないが建替えはできないのだろうか。
- ・ 西城山小の空き教室を代替に使用できないか。

2班



若草学童クラブ

- ・ 学校敷地内にあるのが望ましいので、施設など管理の課題はあるが、西城山小に空き教室が活用できないのだろうか。

5班 6班



緑が丘地区子育て支援センター「ピクニック」

- ・ 淵地区ふれあいセンターのデイサービスが平成31年度末に終了するので、その空きスペースに移転できないか。

5班 6班



4 発表(つづき)

各班の発表内容の主なものです。

緑が丘地区ふれあいセンター

- ・ 2階調理室の使用頻度が低い。イベントの際など、準備室や控室として使っている。もっと有効活用できないか。
- ・ 施設をもっとアピールし、地域に寄り添った運営をしていくといい。



つつじ荘

- ・ 舞台が広すぎて使いにくい。狭くして、余った分をほかに活用できないか。
- ・ 高齢者の憩いの場として、毎日利用されている。
- ・ もっと人が集まるよう、PRしてほしい。



市営住宅

- ・ 入居率の低いところや古いところ、家賃の回収率の悪いところは集約した方がよい。
- ・ 不要となった場合は解体するとよい。
- ・ 必要最小限のセーフティネットとして確保したうえで、縮小を図ってはどうか。



【講評】(アドバイザー: 首都大学東京 都市環境学部 讃岐 亮 先生)

「施設」ではなく、そこで提供される「サービス」に目を向け、利便性や実現可能性を長期的な視点で考えてほしいと思っていたところ、今回はそういった視点からのアイデアが出てきた点が良かったと思います。

夢を語りた部分もあったと思いますが、夢だけではお金がかかりすぎて実現しません。納税者として税金が有効に活用されているか、長崎市の経営という視点を加えて、「市民目線+経営者目線」で優先順位を考えるべきということをもう一度振り返って、次回の対話に臨んでほしいと思います。



次回の対話では・・・

第2回目の対話で住民の皆様から出された意見に対しての市の考え方をご説明し、さらに話し合いを進めたいと考えています。



今後の予定

第3回 3月17日(土)14時から
場所:長崎県営野球場 第1会議室

第4回 4月14日(土)14時から
場所:淵地区ふれあいセンター

※第4回の場所が変更になりましたので
ご注意ください。

◆お問い合わせ:長崎市理財部資産経営室(☎直通:095-829-1412)